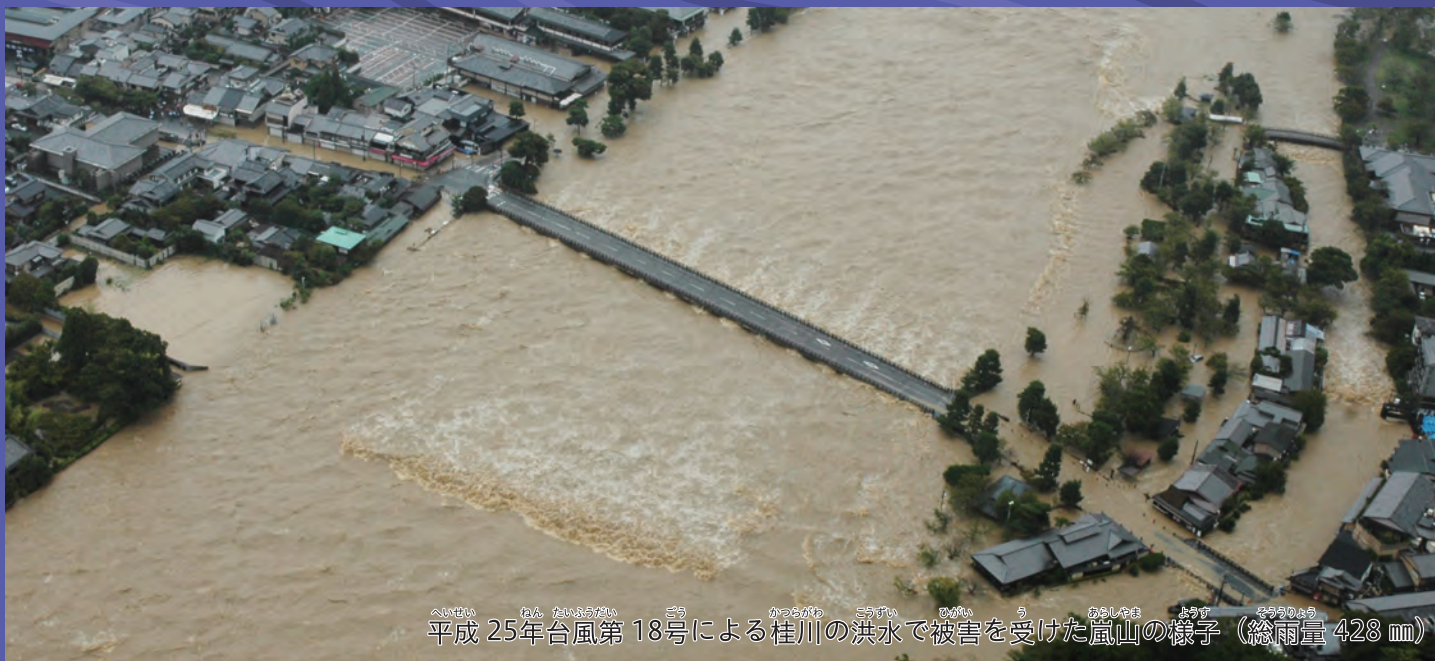




発行：令和 8 年 6 月 / 京都市行財政局防災危機管理室
京都市印刷物 第 080578 号

浸水の深さが浅い場合は、建物の上階に避難する方が安全な場合があります。

裏面のマップで身の回りのがくらの深いで浸水するのを確認しましょう。

浸水深度がひざ下り低くても、水の流れが速いと歩行しにくくなります。無理に外に出ないで、今後の建物の上階に避難しましょう。なお、平屋の場合は、早い段階で近くの高く頑丈な建物等に避難しましょう。

**2階以上へ
垂直避難**

1 浸水が始まる前に避難をしよう 事前に避難を！	2 川や橋には近づかない！	3 御溝やマンホールには注意！	4 車での避難はひかえよう！
5 高齢者や障がいのある方などの避難の手助けを！	6 1人での避難はひかえて周囲の人に声をかけよう	7 動きやすい格好で避難しよう ● 荷物をまとめて片手を自由に ● 長靴は厳禁！ ● スティックや傘で足元を確認	

避難場所でなくても、近くの高くて頑丈な建物に避難しましょう

自宅の2階以上で斜面から離れた部屋に避難しましょう

土砂災害を警戒

京都市では、市役所と市民が一緒に参加する防災訓練がおこなわれています。訓練に参加して、防災意識を高めます。